

次世代の緑内障 スクリーニング

第92回九州眼科学会
ランチョンセミナー4

2022年5月28日(土) 11:30-12:30

沖縄県市町村自治会館 4階 第2会場 4・5・6・会議室



座長
井上 俊洋 先生
(熊本大学)

座長のことば

緑内障診断は、構造と機能から総合評価されるため、眼底検査やOCT、視野検査、細隙灯顕微鏡など様々な装置が用いられます。臨床現場の皆様は、検査時間や検査精度、患者様の負担などの課題に苦悩されているのではないのでしょうか。本セミナーでは、日常診療の課題に対する取り組みをご紹介します。

まず高橋先生から、視野検査に大きなインパクトを与えた視野計 imo とその新バージョン imo vifa に関する今後の展望をお話いただき、続いて新垣先生から、症例をご紹介頂きながら様々なスキャンプロトコルを用いた DRI OCT Triton の有用性をお話いただきます。最後に中野先生から、OCT を活用したスクリーニングにおける期待と課題と合わせて、遠隔診療を含めた将来の展望についてご紹介いただきます。多くの先生方のご参加をお待ちしております。



演者
高橋 枝里 先生
(熊本大学)

視野検査は
アイモで変わる！



演者
新垣 淑邦 先生
(琉球大学)

緑内障診療における
OCT Triton の活用
～臨床での有用性～



演者
中野 匡 先生
(東京慈恵会医科大学)

緑内障スクリーニング
における OCT の活用と
将来展望